

KDMoP

Shonai Photo Meeting

—リミックス 土門拳—

庄内の作家による新しい写真 / 美術展

2024

9.27 Fri

—10.22 Tue

五十嵐 丈

千葉 奈穂子

早坂 葉

本間 聡美

王 憶冰

土門拳記念館

Ken Domon Museum of Photography

2025年4月、土門拳記念館の呼称が
「土門拳写真美術館」に変わります。

シナの皮剥ぎ 鶴岡市関川地区 2018年
撮影：五十嵐 丈

ケーディーモップ KDMoP?

2023年11月、土門拳記念館は、地元・庄内地域の写真家や美術家たちが中心となった交流や活動の場を新たに創出することを目指し、新プロジェクト「KDMoP Shonai Photo Meeting」を立ち上げました。KDMoPは、土門拳記念館の英語名 = Ken Domon Museum of Photography の略称。この少々覚えづらいプロジェクト名は、展覧会やワークショップなど、その活動を様々な形でアウトプットすることによって、写真・美術を介した双方向的なコミュニケーション (=Photo Meeting) を多くの方々と共有することを目指して名付けられました。写真表現が多様化する今日、20世紀日本を代表する写真家・土門拳の故郷である庄内エリアで、現代作家の活動の場を広げていくことを志しています。

初めて行う今回の展覧会では、「土門拳」をテーマに、キャリアや作風の異なる5人の作家がそれぞれの眼差しで写真家・土門拳を新たに解釈し、作品を発表します。メンバーは全員庄内出身もしくは在住の、地元に関わりを持つ作家たちです。発表作品のメディアは写真が中心となりますが、インスタレーションや映像など、写真に隣接する幅広い媒体を取り入れ、多様な表現が展開されるグループ展となる予感。土門拳記念館における新たな試みをどうぞお見逃しなく！

五十嵐 丈 Joe IGARASHI
土門が提唱した「絶対非演出の絶対スナップ」を現代のテクノロジーを用いて再考。

千葉 奈穂子 Naoko CHIBA
本や映像、テキストなどを介し、土門の写真集『筑豊のこどもたち』と自作の繋がりを辿る。

本間 聡美

Satomi HONMA
庄内の風土や人をテーマに、自身と土門のあいだにある相違点や共通点をも探る。

早坂 葉

Yo HAYASAKA
土門との共通のルーツである庄内地域でのリサーチを基に、多様なメディアを含む作品を展開。

王 憶冰

Yibing WANG
現代的な手法で様々な被写体の“肖像”を撮影。土門が得意としたクローズアップ撮影を新たに捉え直す。

参加作家たちの使用機材と展示プラン
撮影：本間 聡美

KDMoP Shonai Photo Meeting

ーリミックス土門拳ー

2024
9.27 Fri – 10.22 Tue

●会期中のイベント

ご予約・お問い合わせは土門拳記念館まで

9/28 (土) 14:00 –

参加作家によるギャラリートーク

ご予約・参加無料 (要入館料)

10/19 (土) 10:00 – 16:00

あなたのポートレート in 土門拳記念館

本展参加作家の本間聡美氏が、土門拳記念館の館内&周辺で、この日限りの・あなただけのポートレートを撮影します！

ご予約・要入館料 / 10組限定 (複数人も可)

参加費 1組2,000円 *お支払いは現金のみ

(撮影時間30分以内 / 完成データ2カットを後日お渡し)

土門拳記念館
Ken Domon Museum of Photography

会期中無休
開館：9:00–17:00 [入館は16:30まで]
入館料：一般800円 / 高校生400円
中学生以下無料

山形県酒田市飯森山2-13 飯森山公園内
TEL : 0234-31-0028
<http://www.domonken-kinenkan.jp/>
info@domonken-kinenkan.jp